

# 令和元年12月6日（金） 午前10時00分～@佐渡市議会

◎佐渡アイランド集落ツーリズム構想の実現に向けて  
【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】のプランニング  
に関する確認と提案

- (1)三浦市政の4年間の総括について
  - ①三浦市長の4年間の具体的施策の成果
  - ②新庁舎建設と今後の行政サービス
  - ③新両津病院建設の今後の予定
  
- (2)佐渡の空き家3,000棟の利活用について
  - ①民家フォーラム2019in佐渡の総括
  - ②佐渡市雇用機会拡充事業補助金（創業・事業拡大）の活用
  - ③特定有人国境離島特措法3年間の成功事例モデル化の必要性
  
- (3)佐渡金銀山の世界遺産登録について
  - ①『ゴールドラッシュアゲイン』という考え方
  - ②有形不動産の保全と観光振興策
  - ③2030年までに佐渡の関係人口100万人創出へ向けて



[http://hiroshimurooka.com/documentandscript\\_201912](http://hiroshimurooka.com/documentandscript_201912)

## 令和元年12月定例会 一般質問資料

三度のメシより佐渡が好き！！！！ 政風会 幹事長 室岡啓史

# 佐渡市作成 建設事業基本案 財源比較表について

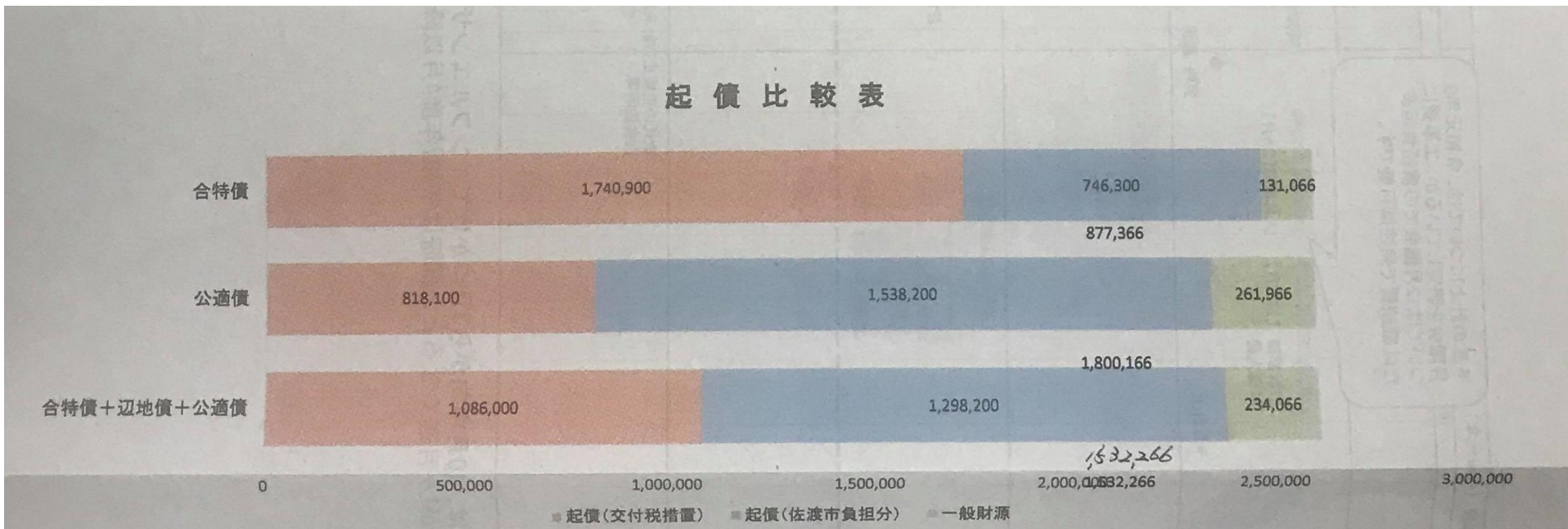
建設事業基本案 財源比較表

No.	事業名	工事期間 (予定)	事業費	(単位:千円)					
				合特債	過疎債	辺地債	公債債	備考	
				・充当率 95% ・交付税措置 70%	・充当率 100% ・交付税措置 70%	・充当率 100% ・交付税措置 80%	・充当率 90% ・交付税措置 50% (解体工事は交付税措置 0%)	合特債+辺地債+公債債	
					年間2億円程度を活用している。 ※直近5年平均 130,400千円	年間10億円程度を活用している。 ※直近5年平均 1,009,000千円		【合特債】 ・充当率 95% ・交付税措置 70% 【辺地債】 ・充当率 100% ・交付税措置 80% 【公債債】 ・充当率 90% ・交付税措置 50% (解体は交付税措置 0%)	
1	アミューズメント佐渡改修工事	2カ年 (2020(令和2)年度) (2021(令和3)年度)	1,712,341	1,626,700 (交付税)1,138,600	1,712,300 (交付税)1,198,600	1,712,300 (交付税)1,369,800	1,541,100 (交付税) 770,500	公債債 1,541,100 (交付税) 770,500	
2	両津文化会館解体工事	2カ年 (2021(令和3)年度) (2022(令和4)年度)	452,700	430,000 (交付税) 301,000	×	×	407,400 (交付税) 0	公債債 407,400 (交付税) 0	アミューズメント佐渡改修工事に合特債を優先交付すれば、両津文化会館解体工事も合特債が充てられない。
3	両津公民館解体工事	2カ年 (2020(令和2)年度) (2021(令和3)年度)	347,435	330,000 (交付税) 231,000	×	×	312,600 (交付税) 0	合特債 330,000 (交付税) 231,000	
4	佐渡島開発総合センター3階ホール改修工事	1カ年	105,790	100,500 (交付税) 70,300	105,700 (交付税) 73,900	105,700 (交付税) 84,500	95,200 (交付税) 47,600	辺地債 105,700 (交付税) 84,500	
合特債計				2,487,200	0	0	0	330,000	
過疎辺地計				0	1,818,000	1,818,000	0	105,700	
公債債計				0	0	0	2,356,300	1,948,500	
起債計				2,487,200	1,818,000	1,818,000	2,356,300	2,384,200	
一般財源				131,066	800,266	800,266	261,966	234,066	
合計				2,618,266	2,618,266	2,618,266	2,618,266	2,618,266	
交付税措置計				1,740,900	1,272,500	1,454,300	818,100	1,086,000	
実質佐渡市負担計				877,366	1,345,766	1,163,966	1,800,166	1,532,266	
合特債との実質負担差額				0	468,400	286,600	922,800	654,900	

※「事業費」欄の数値は、2018（平成30）年10月現在を記載。今後、単価入替等により変動する可能性あり。

【出典】佐渡市作成 建設事業基本案 財源比較表

# ▼佐渡市作成 起債比較表について



	合特債	公適債	合特債+辺地債+公適債	備考
起債	2,487,200	2,356,300	2,384,200	過疎(2億) 辺地(10億) 枠がある
(うち交付税措置)	(1,740,900)	(818,100)	(1,086,000)	
一般財源	131,066	261,966	234,066	
事業費計	2,618,266	2,618,266	2,618,266	
実質佐渡市負担	877,366	1,800,166	1,532,266	
負担差額	0	922,800	654,900	

※過疎債、辺地債は解体事業は対象外であり、年間の活用額がほぼ決まっており、増額は困難。市道改良等の他の事業が出来なくなるため不適である。

資料No. 1

【出典】佐渡市作成 起債比較表

# ▼将来の必要病床数等について

## □病床数と病床機能について

◎現在、両津病院の有している病床数と病床機能は、次のとおりです。

### 1) 現在の病床数と病床機能

- ◎ 病床数：99床  
(ただし、看護師不足により3階病棟39床を休床中。稼動60床)
- ◎ 病床機能：一般病床（10対1看護）

### 2) 「佐渡市医療構想」からの将来入院需要予測

「佐渡市医療構想」では、医療需要度の高い75歳以上の後期高齢者の人口推移予想から将来必要となる病床数を推計しています。

(参考) 将来の必要病床数 (単位：人：床)

病院名	H47年度(2035年度)		H25年度 (2013) 許可病床数
	推計入院患者数	必要病床数	
佐渡総合病院	101,186	310	350
羽茂病院	13,905	診療所19に←43	45
佐和田病院	10,390	32	34
相川病院	14,582	45	52
両津病院	21,016	60に←65	99

※平成47年度においても65床程度の入院需要があることが予想されています。

【出典】佐渡市医療構想

(令和元年10月2日新潟県議会厚生環境委員会資料)

資料1-1

## 公立・公的医療機関等に係る国からの再検証要請について

### 1 背景・経緯

- 公立・公的医療機関等は、2015年度から2017年度にかけて、2025年を見据えた「新公立病院改革プラン」、「公的医療機関等2025プラン」を策定したが、国は、高度急性期・急性期病床の削減や急性期から回復期等への病床転換が進んでいないと判断。
- そのため、厚生労働省は、「地域医療構想に関するワーキンググループ」で検討を進め、診療実績等に基づく基準に該当した医療機関を、再検証要請対象医療機関として9月26日に公表。

### 2 再検証要請対象医療機関等

- 再検証要請の対象は、「診療実績が特に少ない」または「類似かつ近接した医療機関がある」と分析した公立・公的医療機関等で、次頁のとおり。
- 今後、国は、当該医療機関に対し、策定済みのプランの再検証を行い、地域医療構想調整会議において合意を得ることを要請。
- ※ 再検証期限は今年度末まで（再編統合を伴う場合は来年9月末まで）

### 3 今後の対応等

- 今回の対象医療機関は、全国一律の基準による分析で機械的に選定されており、必ずしも地域の実情が考慮されているものではない。
- 国からの再検証要請は、直ちに病院の再編統合に繋がるものではなく、地域の病院の機能や役割を見直すためにデータ等を示されたものと認識。
- 今後、二次医療圏ごとに設置された地域医療構想調整会議で、改めて議論。

【出典】新潟県議会厚生環境委員会資料

# ▼新両津病院 整備基本計画（概要版）表面について

## 新両津病院 整備基本計画（概要版）

### ◆ 両津病院は新しく生まれ変わります

- 両津病院は佐渡市東部を中心とした地域に医療を提供し、また、身近な医療機関として「かかりつけ医」の役割も果たしています。昭和56年の開院から37年が経過し、病院の形態や運営は変わってきましたが、公立病院としての使命を忘れず、市民へ医療の提供を行っています。
- しかし一方で建物や機械設備の老朽化は苦しいものがあります。また、東日本大震災を契機として、平成25年には耐震性能の不足が判明するとともに、津波被害によっては病院機能が失われてしまう事態も想定されます。
- このことから平成26年には佐渡市立病院運営委員会から「両津病院は新築が望ましい」との答申を得て、その後、外部有識者を交えて「東部地区のみならず佐渡市の医療体制として両津病院のあるべき将来像」について検討を重ねてきました。平成28年2月には「佐渡市医療構想」が、翌29年3月には「新佐渡市立両津病院建設事業基本構想」が策定されました。
- そして今、「新両津病院整備基本計画」として、超高齢社会を迎える将来にわたって安くて安定した医療を提供できる新両津病院の姿を、市民の皆様にお示しするものです。

### ● 新病院の概要

#### ■ 外来診療科目（現在の診療科目を維持します）

- 常設：内科、小児科、歯科口腔外科
- 非常設：外科、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、矯正歯科

#### ■ 病床数

1 病棟60床（1看護単位）	
うち、一般病床	48床程度
うち、地域包括ケア病床	12床程度

- ※ 病棟は個室を十分に確保し、個室と4床室の構成で配置することにより、患者サービスの向上を図るとともに、適切な医療と安全で安心な医療を提供します。
- ※ 「地域包括ケア病床」は、急性期の治療が終了し病状が安定したものの、すぐにご自宅や施設等での療養に移行することに不安がある患者さんに対して、在宅復帰に向けて、医療管理、診療、看護、リハビリを行うことを目的とした病床です。

#### ■ 建築規模等

- 建設地：両津文化会館及びその周辺
- 建設規模：地上3階建て 延床面積：約5,700㎡ 駐車場：約200台

#### ■ 建設スケジュール

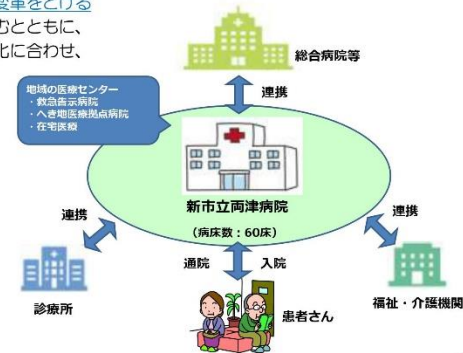
2019	2020	2021	2022	2023	2024
詳細検討 調査・設計業務			建築・外構工事 機器導入		開院

【出典】佐渡市作成 新両津病院 整備基本計画（概要版）表面

2019年12月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

### ● 理念と基本方針

- 1. 既存医療機関や福祉施設との連携強化による適切な医療提供とサービス向上**  
島内の医療機関や福祉施設等との連携をさらに強化し、島内の医療・介護サービス向上の中心的役割を果たします。
- 2. 地域の医療センターとしての機能**  
総合診療、健康管理、医療介護連携、へき地診療、救急告示等の地域に必要な医療を総合的に提供する地域の医療センターとしての機能を持つ病院の役割を担います。
- 3. 地域と共に歩みながら、病院自身も変革をとげる**  
地域住民の健康を願い地域と共に歩むとともに、医療・IT技術の進歩、社会環境の変化に合わせ、病院自身も変革していきます。
- 4. 更なる患者・利用者サービスの向上を図った病院へ**  
電子カルテ導入等の情報化により、待ち時間の短縮を目指すなど、更なる患者へのサービス向上を図ります。
- 5. 患者・利用者ニーズを踏まえた病院づくり**  
利用者ニーズを常に把握した病院運営を行います。



### ● 施設整備方針

- ◇ 患者さんに優しい施設整備（ユニバーサルデザインに基づくサイン計画、段差の解消 等）
- ◇ 災害に強い安心安全な施設整備（地震、津波への対応、BCPへの対応 等）
- ◇ 環境に配慮した施設整備（自然エネルギーの有効活用、緑化空間の創設 等）
- ◇ 経済性に優れた施設整備（建設コストの削減、ライフサイクルコスト削減 等）
- ◇ 地域に愛される施設整備（市民が親しみを感じる施設整備、地域の資源の積極的活用 等）
- ◇ 景観に配慮した施設整備（佐渡の景観に調和するデザイン、自然環境に配慮した施設整備 等）
- ◇ 職員のワーク・ライフ・バランスとプライバシーに配慮した施設整備（動線、部門配置 等）

### ● 概算事業費

現段階での概算事業費は、右表のとおりです。  
医療機器・什器購入費・システム導入費・その他費用は同規模病院事例を参考に、建設工事費については更に離島の状況を加味して試算しています。

事業費区分	費用（税込）	備考
事前調査費等	約0.2億円	地質調査費、測量費等
設計・管理費	約1.5億円	基本・実施設計費、工事監理費
建設工事費	約35.6億円	建設工事・外構工事費、設備費等
医療機器・什器	約8.5億円	医療機器・什器・備品費、廃棄費等
システム導入費	約2.3億円	ネットワーク工事費、システム導入費等
その他費用	約1.3億円	患者移送費、引越費用等
計	約49.4億円	

# ▼新両津病院 整備基本計画（概要版）裏面について

## ● 建設地の検討

新両津病院の建設地は、次の方針に基づき検証を行いました。

【建設候補地選定に係る基本方針】

- ①災害に強い病院を建設できる場所であること。
- ②病院を利用する患者・職員の利便性が高い場所であること。
- ③市有地であること又は敷地取得を円滑に進めることが可能であり、事業の進捗に影響が少ない場所であること。
- ④整形かつ病院整備を行うために必要な敷地面積を確保できること。
- ⑤佐渡市医療構想で示された「両津地区の拠点医療機関」の機能を確保できる場所であること。

## ● 建設候補地の抽出

上記の基本方針を踏まえ、両津地区の中心である両津支所から自動車で概ね10分の移動距離内で一定程度の空地面積を有する敷地として、下図に挙げる9か所の敷地について比較検討を行いました。



## ● 建設候補地の絞り込み

上記9か所の建設候補地について、敷地選定方針に従い分析評価した結果、新病院整備を行うための敷地面積が確保できること、現行の利用状況を踏まえ用地取得が容易であること、人口密集地に近く、患者・職員の利便性が保たれることなどを考慮し、「ア 両津梅津多目的広場周辺」、「イ 両津文化会館及びその周辺」、「オ 湊都市再開発用地」の3か所に絞り込み、さらに詳細な比較検討を行いました。

【出典】佐渡市作成 新両津病院 整備基本計画（概要版）裏面

## ● 建設候補地の選定

新両津病院の建設地については次の点を評価し「両津文化会館及びその周辺」としました。

- ①高台に立地するため、津波浸水の恐れがなく災害に強い病院が建設可能である。
- ②両津地区の人口密集地に近く、病院を利用する患者や職員の利便性を保つことができる。
- ③市有地であり、現在の両津文化会館は廃止の方向性が示されていることから、廃止後の速やかな跡地利用が可能と見込まれる。
- ④新病院整備を行うための十分な敷地面積が確保でき、建設想定エリアに近接して十分な台数の患者や職員用の駐車場整備が可能である。また、将来の増改築や建て替え、敷地の一部を多用途施設への転用にも柔軟に対応することが可能である。
- ⑤市内の無医地区・準無医地区へのへき地巡回診療の実施、佐渡総合病院や両津地区の介護施設等との連携を図るためのアクセス性を確保できる。

## ● 現地建て替え方式について（参考）

移転新築方式とともに、現地建て替えの可能性についても検討を行いました。病院機能を継続しながら、現在の敷地内での建て替えは、物理的、技術的には必要とされる病院機能を敷地内に配置することは可能です。しかし、病院機能を生かし、診療を継続しながらの「層ながら工事」となるため、段階的な施工による事業費の増加や工期の増大が見込まれること、工事に伴う振動や騒音が患者や入所者の療養環境に与える悪影響、外来や検査などの各種機能を結ぶ動線の分断による機能低下など、様々な影響が出る懸念があります。

また、現在地は津波の浸水が想定されていることから、たとえ厳しい条件や多くの制約を乗り越え、複雑な工程による建て替えを行ったとしても、将来にわたり地域の医療を支えることが求められている両津病院として、津波浸水想定地域に立地する病院の課題を解消できないことから、現地での建て替えは、建設用地を他に確保することができない場合のみ、採用できる方式であると判断しました。

## ● 敷地利用イメージ（参考）



民家再生

10/12(sat)

## 民家フォーラム 2019 in 佐渡

いとしげな島 芸能と民家を引き継ぐ

日本民家再生協会では、毎年「民家フォーラム」を開催しており、第22回目は本年は佐渡市で開催します。

順徳上皇、日蓮上人や世阿弥など、中世までに政争に敗れた貴族や知識人が流されてきた歴史があり、また北前船西回り航路の寄港地でもあったこの地には、歴史文化、町人文化、農村文化、漁村文化と多彩な文化が残ります。能舞台や寺社、農家住宅、船工の家など、バラエティに富んだ建築が多くあり、島のなかに見どころ凝縮しています。

佐渡を舞台に、建築技術や文化継承、空き家問題について考えるシンポジウムを行います。

魅力あふれる佐渡へぜひお越しください。

**展示・民家再生相談会**

【時間】12:00～17:00(予定)  
 【入場】無料 ※お申込み不要  
 【会場】金井能楽堂(新潟県佐渡市中甲371)

毎年地元に参加者の方に好評をいただいている民家再生相談会と、「JMRA 第14回民家再生奨励賞」のパネル展示、日本民家協会によるパネル展示会、シンポジウムと同じ会場で行います。民家再生相談会では、建築の専門家、ボランティアで、民家の再生・リフォームに関するご相談をお受けします。

特定非営利活動法人(認定NPO)  
**日本民家再生協会**  
 JAPAN MINKA REVIVAL ASSOCIATION  
 〒102-0085 東京都千代田区大番町1-1  
 TEL: 03-5216-3541 FAX: 03-5216-3542  
<http://www.minka.jp/>

【参加費】1,000円  
 ※佐渡市民は無料。当日「佐渡市民サービスカード」等をご提示ください。

【会場】金井能楽堂(新潟県佐渡市中甲371)

13:00～開場、受付 / 13:30～開会式  
 13:40～民謡披露(佐渡ヶ島謡謡団)  
 14:10～鬼太鼓(藤津島越青年団) / 14:25～休憩  
 14:30～パネルディスカッション「民家が紡ぐコミュニティのつながり」  
 【コーディネーター】豊田光世氏(新潟大学 佐渡自然共生科学センター准教授)  
 【パネリスト】菅野敦司氏(公益財団法人 読書文化財団 専務理事)  
 藤井千晶氏、井崎恵氏(apifujizaki 一級建築士事務所)  
 熊野礼美氏(佐渡 Uターンサポートセンターコーディネーター)  
 川上巧氏(日本民家再生協会正会員、佐渡ヘリテージ協議会代表)

16:00～質疑応答 / 16:10 終了

お問い合わせ・お申込みについては、裏面、またはウェブサイトをご覧ください。

## 民家フォーラム 2019 in 佐渡

いとしげな島 芸能と民家を引き継ぐ

**10/12 (土) シンポジウム 13:00～16:10**

佐渡全島に点在する利用可能な空き家は、約3,000棟。それらの空き家が、大きな可能性を秘めているということ、島内外に向かって発信するシンポジウムです。「いとしげな島、佐渡」をキーワードに、佐渡において民家再生などに取り組む方々をパネリストに迎え、民家利活用の有効性について考えます。

【参加費】1,000円  
 ※佐渡市民は無料。当日「佐渡市民サービスカード」等をご提示ください。  
 【会場】金井能楽堂(新潟県佐渡市中甲371)

**■14:30～16:00 パネルディスカッション(コーディネーター&パネリスト)**

**豊田光世氏**  
 新潟大学 佐渡自然共生科学センター 首席教授。東京出身。米国立大学で環境倫理と哲学対話の研究に従事。帰国後、東京工業大学大学院理工学研究科博士課程にて、佐渡島をフィールドとして市民参加の建築保全に向けた市民形成の実証研究を行う。兵庫理科大学環境人文学部講師、東京工業大学グローバルリーダー教育院特任准教授を経て、2015年9月より現職。

**菅野敦司氏**  
 公益財団法人 読書文化財団専務理事。一般社団法人 読書文化財団 専務理事。東京生まれ。中央大学経済学部経済学科。カリフォルニア大学サンタバーバラ校大学院経済学修士(開発・経営経済学)。1987年より読書に参加。これまで、主に海外での制作業務を担当し、数度のマネージャーとして35ヶ国を訪ねる。

**川上巧氏**  
 佐渡島生まれ。祖父の代から続く工務店を25年前にトーンシ継承。一般的な住宅工事に関わりつつ佐渡の民家を見直し、15年前から現代生活に合うリノベーションに取り組みている。また古民家での業務に加え、現在は(一社)佐渡ヘリテージ協議会の代表として、島内の古民家や寺社の調査をしている。2級建築士、新潟県ヘリテージマネージャー。

**熊野礼美氏**  
 兵庫県神戸出身。2014年より3年間、佐渡市地域づくり協力隊として空き家・移住者支援を行う。2017年より佐渡 Uターンサポートセンターを運営。現在、佐渡の移住コーディネーターとして活動を展開。佐渡に移住した人が楽しく暮らしていることを言葉や情報として伝え、地元の人、先に移住した人、これから移住する人などを交えた島根のいい空間を目指している。

**藤井千晶氏 / 井崎恵氏**  
 andfujizaki 一級建築士事務所 共同主宰。andfujizaki 株式会社代表取締役。一級建築士。藤井 崇出身(藤井)、井崎 崇出身(井崎)。東京理科大学工学部建築学科を前期で卒業後、建築設計事務所にて7年間勤務。2012年東京理科大学にて andfujizaki 一級建築士事務所を開設。2016年春、佐渡島に移住した知人に誘われ初めて佐渡島に来島。古くから建築、自然、文化、美味しい食事や畑の人の人々に魅了されようようになる。また建築士として、響きあふる空き家を調査しながらその利活用を模索している。2017年、島根に位置する松ヶ崎集落にて第100回市民祭を開催した際の運営を担当。

**10/12 (土) 懇親会**

【時間】18:00～20:30(受付17:30～)  
 【参加費】5,000円(税込み)  
 【会場】鎌倉(新潟県佐渡市津田978-3)  
 ※会場形式となります。  
 ※シンポジウムより参加の場合は送迎バス(移動) ※写真はイメージです。

**10/13 (日) オプションツアー**

【日程(予定)】8:30 集合(朝ごはん会場) 出発。北郷家(国指定重要文化財)見学。<竹田>大湊神社総務台。妙重寺五重塔見学。<小浜水場>徳見別荘(パネリストの菅野氏がおいでします)。<松ヶ崎>パネリスト藤井氏、井崎氏が運営する民家再生の宿泊施設「カラふるかえり」見学。17:00 新潟港帰船(17:30 新潟港乗船ステーションに接続) ※この日の入道は送迎へ戻ります。③(到着予定18:30)

【集合】Ayaka 鎌倉ロビー(新潟県佐渡市津田978-3)  
 【参加人数】28名 ※定員に達し次第締め切り。その際はキャンセル待ち。  
 【参加費】2,000円 現地で現金 ※移動費、昼食費、見学料、保険料含む。  
 【旅行企画・業務】一般社団法人佐渡観光交流機構  
 新潟県知事選挙執行委員 第2342号 全国旅行業協会 (ANTA) 正会員  
 県内旅行業務取扱管理者 鈴木 実美・ワコビー 真琴  
 〒952-0014 新潟県佐渡市津田美 353 (佐渡船大ターミナル)  
 TEL: 0259-23-5000, FAX: 0259-23-5030

**参加申込書**

◇お申込みは、ファックス、郵便、またはE-mailにてお願いいたします。  
 ◇E-mailにてお申込みの場合も必ずお一人ずつ住所、氏名、お電話番号(オプションツアーにご参加の場合は、生年月日、性別)をご記入ください。  
 ◇お申込みと同時に、郵便振替 1 簿 (00190-0-396443 日本民家再生協会) に参加費をお振り込みください。振込用紙に「民家フォーラム2019」と記入。払込人欄には必ず個人名をお書きください。9月中旬より、ご記入いただいたご住所にチケットをお送りします。

氏名	住所(〒 - )		
電話	ファクス	E-mail	

参加希望の項目に○を付けてください。オプションツアーに参加される場合は、以下にご記入ください。

<input type="checkbox"/> シンポジウム (1,000円)	振込金額	円	
<input type="checkbox"/> 懇親会 (5,000円)	合計		

○ オプションツアー(現地で集金)

生年月日    年   月   日    性別   男 / 女

お問合せ・お申込み先    特定非営利活動法人(認定NPO)    JMRA  
**日本民家再生協会**  
 〒102-0085 東京都千代田区大番町1-1  
 TEL: 03-5216-3541 FAX: 03-5216-3542    E-mail: info@minka.jp

締切期日: 9月末日 ※お申込み・お振り込みともに完了をお願いします。

# ▼3,000棟ある佐渡の空き家を燦然(さんぜん)と輝かす！

8

## ⑥世界文化遺産や日本遺産等を中核とした観光拠点の充実

### 現状・課題

- インバウンド増を踏まえ、観光拠点の整備が不可欠。
- 我が国が誇る世界文化遺産や日本遺産等を中核に、観光資源の集積・さらなる磨き上げを行うことが重要。

### 受け皿体制の整備例

情報発信拠点(ビジターセンター)の整備



【島根県津和野町】

伝統的な家屋を宿泊施設に改修



【宮崎県日南市】

文化財を含めて景観を一体的に刷新



【岐阜県高山市(往時の土蔵を復元)】

### 今後の取組予定(目指すべき方向性)

- 世界文化遺産や日本遺産において、地域全体を一体的に整備することにより、ブランド力の向上と観光拠点としてのさらなる磨き上げを実施。
- 訪日外国人が日本の地域に受け継がれた文化を理解するため、世界文化遺産や日本遺産等の域内における文化財を活用。

※これらの文化関連の施策についてインバウンド促進に向けた統計調査も検討

【出典】文化財の観光資源としての開花 文化庁

7



# ▼出島アゲイン(DEJIMA AGAIN)プロジェクト①

◆出島表門橋架橋に伴う一連のプロジェクトを『DEJIMA AGAIN』のキャッチフレーズのもと、国内外に向けて広く発信しています。



## ▼『DEJIMA AGAIN』のポーズ



親指と人差し指は  
ピンツ!と伸ばして  
指と指の間は 90°に開きます。

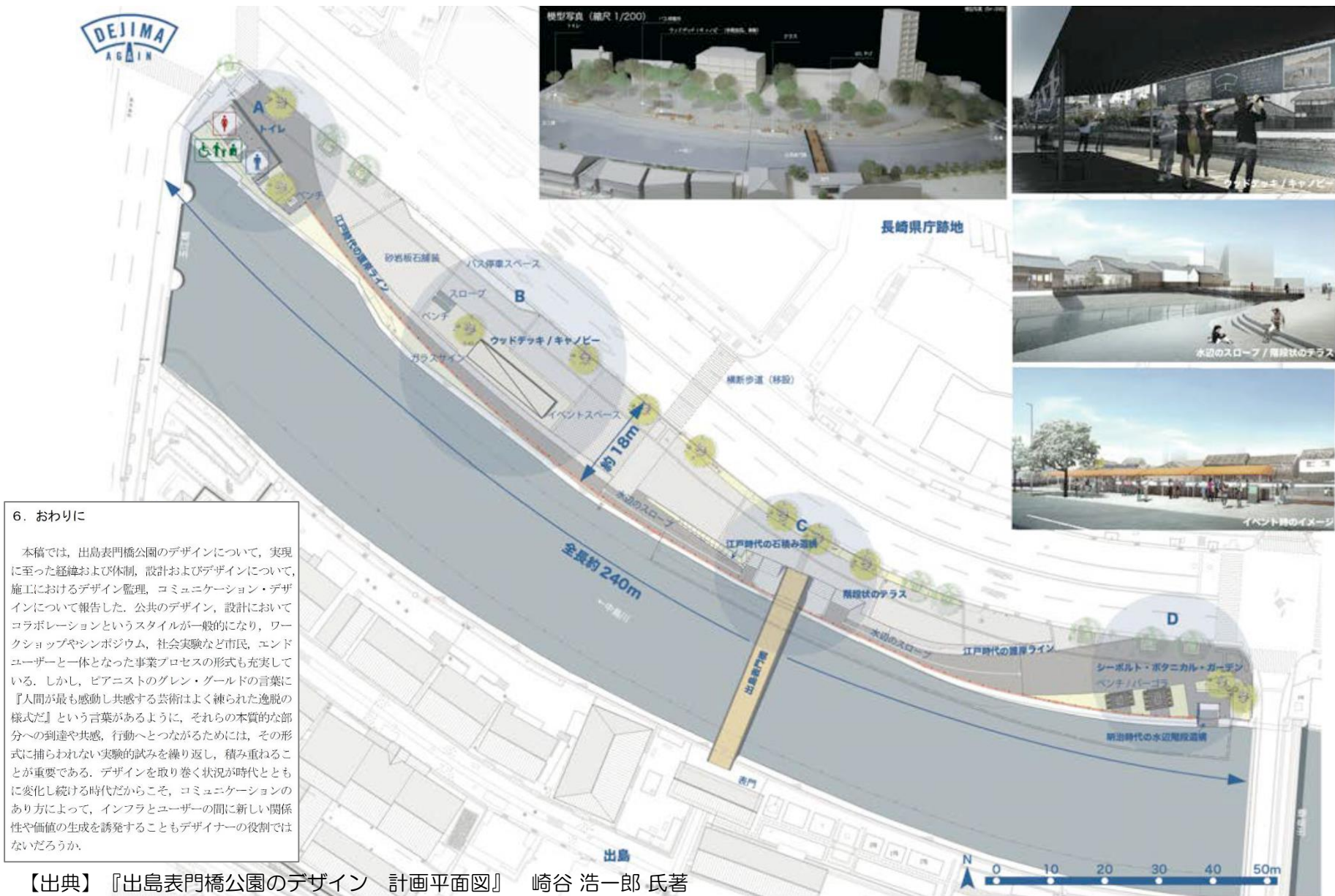


両手を揃えて出島をイメージ!  
とっても簡単、完成です!!



【出典】『DEJIMA AGAIN』 <https://dejima-base.tumblr.com/>

# ▼出島アゲイン(DEJIMA AGAIN)プロジェクト②



6. おわりに

本稿では、出島表門橋公園のデザインについて、実現に至った経緯および体制、設計およびデザインについて、施工におけるデザイン監理、コミュニケーション・デザインについて報告した。公共のデザイン、設計においてコラボレーションというスタイルが一般的になり、ワークショップやシンポジウム、社会実験など市民、エンドユーザーと一体となった事業プロセスの形式も充実している。しかし、ピアニストのグレン・ゲールドの言葉に『人間が最も感動し共感する芸術はよく練られた逸脱の様式だ』という言葉があるように、それらの本質的な部分への到達や共感、行動へとつながるためには、その形式に捕らわれない実験的試みを繰り返す、積み重ねることが重要である。デザインを取り巻く状況が時代とともに変化し続ける時代だからこそ、コミュニケーションのあり方によって、インフラとユーザーの間に新しい関係性や価値の生成を誘発することもデザイナーの役割ではないだろうか。

【出典】『出島表門橋公園のデザイン 計画平面図』 崎谷 浩一郎 氏著

# ▼さどまる倶楽部アプリ化、だっちゃんコインの開始

報道関係各位

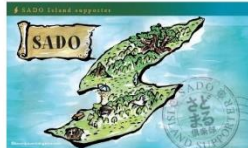
PRESS RELEASE

令和元年 11 月 27 日

## さどまる倶楽部のスマートフォンアプリと 地域通貨「だっちゃんコイン」が始まります！

拝啓 ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。日頃 佐渡観光に関わる報道へのご協力ありがとうございます。

佐渡観光交流機構では、佐渡市地域振興課事業「さどまる倶楽部」の会員様向けのスマートフォンアプリのリリースと同アプリに搭載する地域通貨「だっちゃんコイン」の試験運用を12月1日より開始いたします。



「さどまる倶楽部」とは、佐渡が大好きで「もっと知りたい!」「良くしたい!」「応援したい!」という、島外在住の皆様から応援いただくためのサポーター制度です。2019年9月末時点の会員数は18,026人で、自治体の域外の会員数としては日本最大級の会員数となっております。

スマートフォンアプリでは、さどまる倶楽部の会員登録と会員番号の即時発行、会員証のアプリでの提示等が可能となり、新規会員登録者や既存会員もアプリ登録していただくことで、これまで以上の利便性の向上が期待されます。

また、地域通貨「だっちゃんコイン」とは、アプリ内のQRコード決済のシステムを利用して、店舗のレジにて、スマートフォンでQRコードを読み取ることによって、キャッシュレス決済が可能になります。

佐渡島内での使用に限ることで、さどまる倶楽部会員である観光客、インバウンド旅行者による、観光施設や飲食店、土産店、地元商店での利用と経済の活性化を目的としています。

「だっちゃんコイン」の利用可能店舗は、佐渡島内で33店舗(2019年11月27日時点)からスタートし、徐々に拡大を図っていく予定です。

観光客が快適で使える観光マネーとして、地域のお買い物を簡単・便利にスマホ決済へ。

**Datcha coin.**  
だっちゃんコイン

さどまる倶楽部アプリで地域独自の(地域通貨)を新発行します。お店には携帯型の専用デバイスがあるだけで、すぐに利用開始できます。

お店側はネット接続なし  
画面な設定なし



## 佐渡をおトクに旅するなら SADO Island supporters club さどまる倶楽部アプリに入会しよう!

**入会無料**  
即時入会できます!

さどまる倶楽部とは?  
?

アプリ内の会員証(マイページ)の提示でおトクなサービスが受けられます!

- ① 会員限定の宿泊施設での特別おもてなしプラン
- ② 会員限定の佐渡汽船特別割引(要事前予約)
- ③ 定期観光バス、レンタカー、タクシー料金 **最大20%OFF**
- ④ 協賛店で受けられるおトクなサービス
- ⑤ リピート来島回数に応じて**記念品を贈呈**します!

**ご注意**

- ※さどまる倶楽部へのご入会は佐渡市外にお住まいの方が対象です。
- ※①の特別おもてなしプランのご予約は、佐渡観光交流機構 佐渡観光情報案内所を通して予約となります。詳しくは 0259-275000 へお問い合わせください。
- ※②の佐渡汽船特別割引サービスは3営業日前(土・日・祝日を除く)までに、さどまる倶楽部ホームページからご予約ください。ただし、希望される便の予約状況によっては、席を確保できない場合がございます。なお、さどまる倶楽部指定のお客に限定することとさせていただきます。
- ※⑤のレンタカー、タクシー料金の割引は、事前予約時に「さどまる倶楽部特典利用」であることをお申し出ください。



**詳しくはアプリをチェック!**

さどまる倶楽部の詳しい情報・佐渡汽船運賃割引申込フォームは ▶ <https://sadamaru-crm.visit/sado.com/> さどまる倶楽部 検索

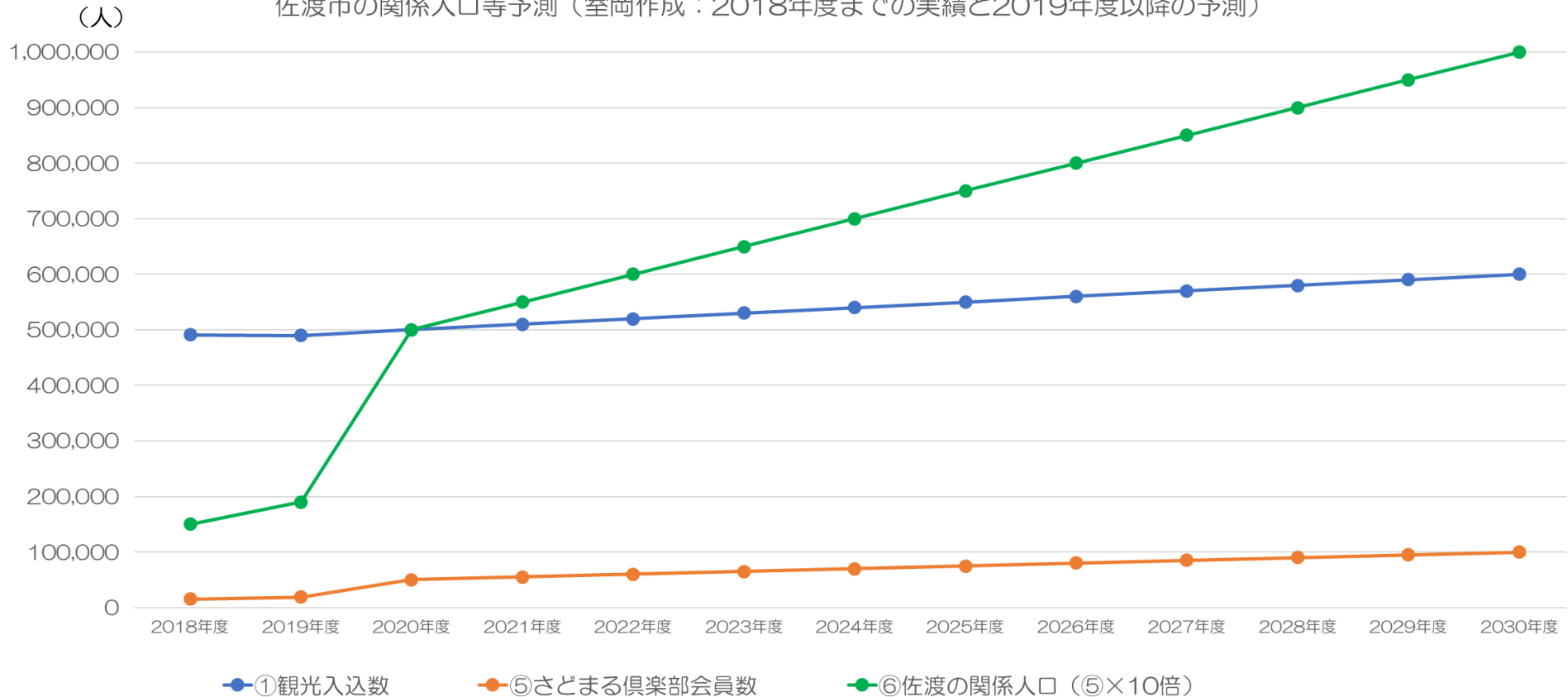
**お問い合わせ** 一般社団法人佐渡観光交流機構 マーケティング事業部 0259-23-5230(平日8:30~17:30)  
さどまる倶楽部運営/佐渡市 協力/JR東日本スタートアップ(株)/(株)ポケットチェンジ 他

# ▼佐渡市の関係人口等予測 (室岡作成：2018年度までの実績と2019年度以降の予測)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
①観光入込数	491,000	490,000	500,000	510,000	520,000	530,000	540,000	550,000	560,000	570,000	580,000	590,000	600,000
②年間宿泊者数	290,000	294,000	300,000	306,000	312,000	318,000	324,000	330,000	336,000	342,000	348,000	354,000	360,000
③うち訪日外国人観光客泊数	26,000	28,000	30,000	35,000	40,000	45,000	50,000	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000	80,000
④佐渡汽船利用者数	1,480,352	1,470,000	1,500,000	1,530,000	1,560,000	1,590,000	1,620,000	1,650,000	1,680,000	1,710,000	1,740,000	1,770,000	1,800,000
⑤さどまる倶楽部会員数	15,000	19,000	50,000	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000	80,000	85,000	90,000	95,000	100,000
⑥佐渡の関係人口 (⑤×10倍)	150,000	190,000	500,000	550,000	600,000	650,000	700,000	750,000	800,000	850,000	900,000	950,000	1,000,000

2019年12月～ ↑さどまる倶楽部アプリ化、だっちゃんコイン開始 ↑佐渡市は2025年度さどまる倶楽部会員数を10万人と予測！？

佐渡市の関係人口等予測 (室岡作成：2018年度までの実績と2019年度以降の予測)



# ▼リーダーシップ（まえから／うしろから）について

## ◆『民衆を導く自由の女神』型リーダーシップと『羊飼い』型リーダーシップ

カリスマ的な存在がリーダーシップを発揮し、大きな旗印のもとに命令型で多くのメンバーを連れていく、というやり方では、もはやうまくいかなくなってきました。

【出典】カリスマリーダーが先導する時代は終わった。これから求められる「新しいリーダーシップ」のあり方とは？ | ライフハッカー  
羊飼い型（水平型）リーダーシップは、さまざまな才能のある多様な人の個性を尊重し、自由に取り組んでもらいながらも、後ろから何となく同じ方向に追っていくようなまとめ方がいいといわれます。

【出典】一流リーダーは先頭に立たない「羊飼い型」 | プレジデントオンライン



【出典】フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』  
ウジェーヌ・ドラクロワ作『民衆を導く自由の女神』  
1830年に起きたフランス7月革命を主題としている。



【出典】ひつじnews <http://www.hitsuzi.jp/2012/06/2041sheep.html>  
ジュリアン・デュプレ作『羊飼い』  
働く農民の姿を画題にした画家。1883年のサロン(官展)に出品したもの。

佐渡の農山漁村の生業を大切にし、  
集落でかけがえのない時を過ごす  
人と人とが繋がっていく世界観



【出典】集落のプロモーションビデオのたたき台（制作：スタジオマクワンカ）



前向きな島づくり  
Positive Island SADO

◆佐渡のコンセプト：『前向きな島づくり』  
コップに半分水が入っているとき、『もう半分しかない』と嘆くよりも『まだ半分もあるじゃないか』と捉えよう！人口減少に端を発するあらゆる衰退をプラス思考で捉え、トップランナーとなることで、この県、この国を引っ張って行こう！

【①大目標】佐渡市民の佐渡市民による  
佐渡市民のための地域づくり

↓そのためには

【②中目標】佐渡アイランド集落ツーリズム構想  
佐渡の農山漁村の生業を大切に、集落でかけがえのない時を過ごす人と人がつながっていく世界観

↓現在進行中

【③小目標】小学校区単位を原則とする  
地域づくりを全島へ

松ヶ崎集落での古民家再生の宿等を中心とした  
地域づくりの横展開



『前向きな島づくり』  
のポーズ

◆コミュニケーションの基本◎  
⇒相手を尊重すること！

◆アンガーマネジメントの基本◎  
＝自身の怒りの感情を制御すること  
⇒自分を尊重すること！

◆究極の哲学を考え続けよう◎  
⇒人は何のために生きるのか？